

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）について

- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、レンサ球菌による感染症です。通常は、レンサ球菌に感染しても無症候のことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまります。しかし、稀に通常は細菌が存在しない組織（血液、筋肉、肺など）にレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患となることがあります。
- 小児が多く罹患するA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは区別されます。

【原因と感染経路】	上気道感染や創傷感染等がありますが、感染経路が不明な場合も多くあります。
【症状】	初期症状としては、発熱や悪寒などの風邪様の症状、四肢の疼痛や腫脹、創部の発赤などが見られます。発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、筋肉周辺組織の壊死を起こしたり、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥り、発病後数十時間で死に至ることも少なくありません。
【治療】	集中管理のもと、抗菌剤による治療が行われます。筋膜炎の場合は、壊死を起こしている部分を切除し感染の拡大を防ぎます。重症化のリスクを下げるためには、早期に治療を開始することが重要です。
【予防のポイント】	劇症型溶血性レンサ球菌感染症に限らず、多くの感染症の予防には、手指衛生や咳エチケット、傷口の清潔な処置といった、基本的な感染防止対策が有効です。また、発熱や咳や全身倦怠感などで食事が取れないなどの体調が悪いときは、かかりつけの医療機関などを受診しましょう。



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

- 1 流水でよく手をぬがした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・指の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらを念入り洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでは



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

何もしずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 コムもを確実に覆う



3 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手で拭かせる

首相官邸  詳しい情報はこちら

厚生労働省 検索 

北海道

感染症対策



✓

一人ひとりの予防が大切です

北海道

感染症対策




一人ひとりの予防が大切です